

## 国際ビジネス展開プラットフォーム ヤンゴン市ごみ埋立場の「福岡方式」整備事業の着工式が開催されました

福岡市では、姉妹都市であるミャンマー国・ヤンゴン市のごみ埋立場（テインピン埋立場）において、国連ハビタット福岡本部と共同で、「福岡方式」整備事業に取り組んでおり、令和元年8月7日に、同事業の着工式が開催されましたので、当日の様子をお知らせいたします。



着工式の様子



丸山駐ミャンマー特命全権大使スピーチ



福岡市中村副市長スピーチ



主催者・来賓によるくわ入れ



ガス抜き管の設置のデモンストレーション



重機運転のデモンストレーション

### 【お問い合わせ先】

（着工式・事業全般に関すること）

環境局環境政策部環境政策課 尾上, 中村

TEL : 733-5383 (内線 2410), FAX : 733-5592

（国際ビジネス展開に関すること）

総務企画局国際部国際協力課 橋本, 中村

TEL : 711-4968(内線 1328), FAX : 733-5597

### ✦ ヤンゴン市ごみ埋立場（テインピン埋立場）の「福岡方式」整備事業

「福岡方式」とは、福岡大学と福岡市が共同開発した安全かつ持続可能なごみ埋め立て技術です。

2018年に大規模な自然火災が発生したヤンゴン市最大のテインピン埋立場において、日本国政府による国際機関を通じた無償資金協力（ODA）の資金を活用し、ミャンマー国内で初めてとなる「福岡方式」による埋立場の整備を行うものです。

本事業は、平成31年4月から令和3年3月までの2年間の予定であり、福岡市としては、この事業を通じて同市の環境改善に貢献するとともに、これまで蓄積してきた、まちづくりのノウハウとヤンゴン市との信頼関係を活かし、引き続き、官民連携も含めたさらなる事業展開を目指してまいります。

- ◆福岡市としては、初のODAを活用した海外における施設整備案件となります。
- ◆同事業は、ヤンゴン市側の期待も高く、都市の発展に大きく寄与するものです。
- ◆同事業には、福岡市の地場企業である「大成管理開発株式会社」様が参画されます。

- 事業期間：2019年～（2年間の予定）
- 総事業費：約6億円
- 事業内容：火災防止対策、既存埋立場の改善及び新規埋立場の設計・整備等  
約100ha（ヤフオクドーム14個分）

### ○テインピン埋立場 「福岡方式」整備事業スケジュール（予定）

年度 月	2019年度												2020年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
測量設計	■																							
既存埋立場改善					★着工式																			
新規埋立場整備													■						■					
モニタリング (水質, ガス質等)					●								●								●			

### ✦ 着工式の主な出席者

- ・ヤンゴン市長 マウン・マウン・ソー
- ・国連ハビタット ミャンマー事務所長 ビジエイ・カマチャリヤ
- ・駐ミャンマー特命全権大使 丸山 市郎（マルヤマ 市郎）
- ・福岡市副市長 中村 英一

※その他、日本国環境省、ミャンマー国天然資源・環境保全省、国際協力機構（JICA）、国連機関（世界保健機関（WHO）・国連児童基金（UNICEF）など）などの関係者、約100名

## ミャンマー連邦共和国ヤンゴン市への福岡市職員の派遣（現在3名）

### ①独自派遣

《2017年2月1日～2020年1月31日》

- 派遣職員：総務企画局主査（国際協力推進担当） **野田 勝也**（ノダ カツヤ） 49歳
- 配属先：ヤンゴン市開発委員会（YCDC）※道路・橋梁局
- 主な業務：上下水・廃棄物処理等の分野における技術協力  
福岡市・ヤンゴン市間の連絡調整業務  
地元企業のビジネス機会創出に向けた情報収集  
福岡市に関する情報・魅力発信 など

### ②JICA 専門家（水道専門家）派遣

《2018年12月17日～2020年12月16日》

- 派遣職員：水道局主査 **古賀 誠一**（コガ セイイチ） 43歳
- 配属先：ヤンゴン市開発委員会（YCDC）※給水衛生局
- 主な業務：ミャンマー水道分野の法制度等の整備に向けた関係省庁・行政組織に対する助言  
送配水管の整備・更新計画に係る計画・実施・管理能力の向上に向けた支援

### ③JICA 専門家（都市開発管理専門家）派遣

《2018年8月23日～2021年2月22日》

- 派遣職員：**守田 剛**（モリタ タツ） 60歳
- 配属先：ヤンゴン市開発委員会（YCDC）※都市計画局
- 主な業務：チーフアドバイザーとして都市開発管理能力向上プロジェクトを総括・調整  
YCDC に対する都市開発管理政策に係るアドバイス  
土地利用に関する規制の策定支援  
開発許認可制度の改善 など

※ヤンゴン市開発委員会（YCDC）は、日本の市役所に相当する行政機関



福岡市発祥

国際ビジネス展開プラットフォーム

～国際貢献を通じたビジネス展開～

ヤンゴン市ごみ埋立場の「福岡方式」整備事業の着工式が開催されます！  
地場のプラットフォーム会員企業が事業に参画します！！

福岡市では、国際貢献を通じて市の知名度や存在感を高めるとともに、官民連携も含めた事業展開を目指しています。

この度、姉妹都市であるミャンマー国・ヤンゴン市において、国連ハビタット福岡本部と共同で実施する同市テインビン埋立場の「テインビン埋立場」整備事業の着工式が開催されます。

本事業の実施については、平成31年2月21日に、高島市長が、ヤンゴン市副市長、国連ハビタット福岡本部長とともに共同発表しており、今回の着工式を契機に、同事業が本格的に始動いたします。

- ◆福岡市としては、初のODAを活用した海外における施設整備案件となります。
- ◆同事業は、ヤンゴン市側の期待も高く、都市の発展に大きく寄与するものです。

■日 時：令和元年8月7日（水） 10:00～（1時間程度）

（別途、重機運転のデモンストレーションなど現場説明会を30分程度予定）

■場 所：ミャンマー連邦共和国ヤンゴン市テインビン埋立場

■出席者：国連ハビタットミャンマー事務所長

ヤンゴン市長

駐ミャンマー日本国特命全権大使

福岡市中村副市長

■次 第：主催者（国連ハビタットミャンマー事務所）挨拶，来賓挨拶，着工セレモニー，事業概要説明，写真撮影

※着工式当日の様子については、後日お知らせいたします。

なお、本事業には、国際貢献を通じて官民連携で海外ビジネス展開を目指す「福岡市国際ビジネス展開プラットフォーム」の地場会員企業である「大成管理開発株式会社」様が参画されることになりました。

福岡市は、これまで蓄積してきた、まちづくりのノウハウとヤンゴン市との信頼関係を活かし、引き続き、地元企業の海外ビジネス展開を支援して参ります。

【お問い合わせ先】

（着工式・事業全般に関すること）

環境局環境政策部環境政策課 尾上，中村

TEL：733-5383（内線2410），FAX：733-5592

（国際ビジネス展開に関すること）

総務企画局国際部国際協力課 橋本，中村

TEL：711-4968（内線1328），FAX：733-5597

## 参考資料

### ✦ 福岡市によるヤンゴン市への技術協力の経緯 (★今回発表の「福岡方式」整備事業関係)

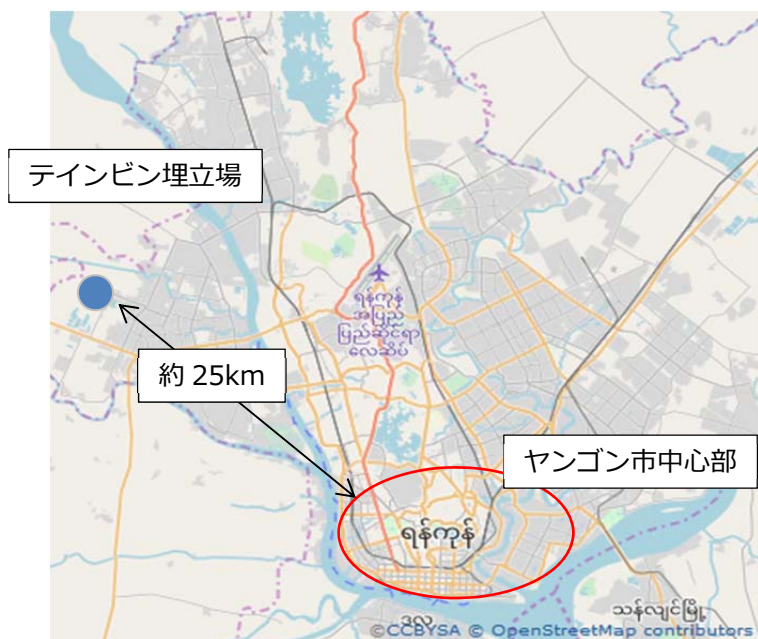
2014年 5月	まちづくり協力・支援に関する覚書締結
2016年 12月	姉妹都市締結
2018年 1月	既存埋立場の福岡方式への改良(400m <sup>2</sup> )
2019年 2月	★日本国政府と国連ハビタットの交換公文の署名 ★共同記者発表 【添付参照】 (福岡市長-国連ハビタット福岡本部長-ヤンゴン市副市長)
2019年 3月	小規模埋立場の整備(パイロットプロジェクト:1ha)

### ✦ ヤンゴン市ごみ埋立場(テインビン埋立場)の「福岡方式」整備事業

2018年に大規模な自然火災が発生したヤンゴン市最大のテインビン埋立場において、日本国政府による国際機関を通じた無償資金協力(ODA)の資金を活用し、ミャンマー国内で初めてとなる「福岡方式」埋立場の整備を行うもの。

- 事業期間: 2019年~(2年間を予定)
- 総事業費: 約6億円
- 事業内容: 火災防止対策, 既存埋立場の改善及び新規埋立場の設計・整備等

### ✦ テインビン埋立場の位置と状況



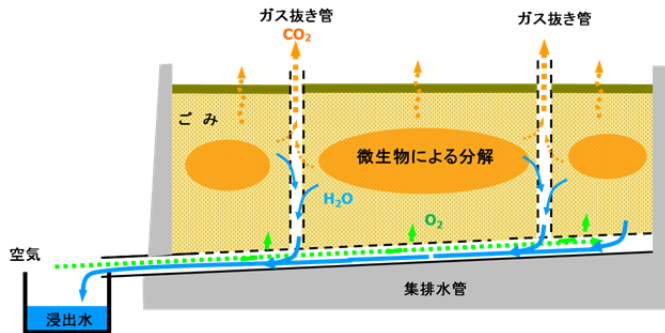
### ✦ ごみ埋立技術「福岡方式」について

#### <福岡方式とは>

- 福岡大学と福岡市が共同開発した安全かつ持続可能なごみ埋め立て技術
- 通気により微生物によるごみ分解を促進し、悪臭・汚水や発火の原因となるメタンガスの発生を抑制。
- 嫌気性ごみ埋立(ごみの野積み)と比較し、温室効果ガスを50%以上削減
- 福岡方式による福岡市の埋立施設への視察見学者は世界各国から70カ国を越える

## <福岡方式の特徴>

- ①**早期安定化** →ごみの分解を促進し、跡地の早期利用が可能
- ②**ローコスト** →整備費用が比較的安価
- ③**シンプル** →構造的に単純で、複雑な設備が不要

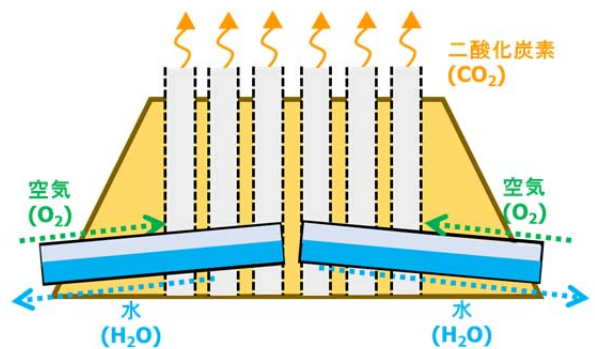


## ごみの野積み(嫌気性埋立)



※メタンは二酸化炭素と比べて 25 倍の温室効果をもたらす

## 福岡方式(準好気性埋立)



## 大成管理開発株式会社の「福岡方式」整備事業への参画について

大成管理開発株式会社は、福岡市が 2014 年から実施してきたヤンゴン市における「福岡方式」に関する技術協力にも貢献頂いています。

「福岡方式」整備事業へは、ティンビン埋立場の現場における技術指導（整備・維持管理）を担うこととしております。

## 《参考》会社概要

■企業名：大成管理開発株式会社

■本 社：福岡市中央区那の津 3-15-17

※1967 年設立。主に廃棄物最終処分場の維持管理・収集運搬等の業務を行い、埋立技術等を習得した職員が多数在籍している。また、JICA 等の国際機関と協力し発展途上国の最終処分場改善のため、国内研修の講師や現地に職員を派遣する等、技術協力を行っている。